

**富士高砂酒造の日本酒製造工程の
やさしい日本語化 & 多言語化
- 成果報告 -**

麗澤大学

目次

- 01 — 私たちについて
- 02 — プロジェクトの背景
- 03 — 具体的な取り組み
- 04 — 成果物の発表
- 05 — 学校内での成果発表会
- 06 — まとめと今後の展望

1. 私たちについて

「麗澤大学」

千葉県柏市にある私立大学で、中国の古典『易経』に由来し、周囲を潤し合う並んだ沢の姿を意味します。

麗澤大学国際学部国際学科

日本学・国際コミュニケーション専攻3年

本プロジェクト代表 花田柊聖

同専攻3年 本プロジェクト会計 野田涼夏



プロジェクト概要

麗澤大学「多文化共生プロジェクト」とは

- ・ 学生主体で自発的に研究や調査を進めていくPBL（Project Based Learning）科目。
- ・ シラバスの作成、授業内内容指示、成果物の作成等を学生が行う。
- ・ 実際にプロジェクトが単位認定される。

-過去実施の他プロジェクト例-

「インドネシア人技能実習生にとって日本での居住・生活・仕事面でどのようなサポートが必要・望ましいか」

「日本語・韓国語のタンデム学習実践」

「旧広瀬小学校活用プロジェクト」

「麗澤大学高校生プレゼンテーションコンテスト」

2. プロジェクトの背景

【背景】

- 2024年度秋 国際学部「多文化共生プロジェクト」の成果を継承・発展
- 静岡県富士宮市には富士高砂酒造など歴史的・文化的資源が豊富
- 外国人視点では
- 言語の壁
- 日本酒製造における専門用語の難解さ が魅力理解の障壁となっていた発展

【これまでの成果と課題】

-成果-

- 昨年度作成：案内チラシ・紹介動画
- 富士宮市役所等から高い評価

-課題-

- 製造工程の説明が表面的
- 在住外国人向けの配慮が十分でなかった

2. プロジェクトの背景

【今年度プロジェクトの目的】

- ① 伝統文化の可視化 - 日本酒製造工程を映像と図解で分かりやすく提示
- ② 多文化共生を意識した情報保障
 - 観光客だけでなく在住外国人も対象 - 地域理解・文化理解の促進

3. 具体的な取り組み

回	取り組んだこと		
1	メンバーの顔合わせ、役割分担決め 昨年度までの活動内容の共有	8	フィールドワーク①日目 富士高砂酒造訪問、動画撮影、資料集め
2	「やさしい日本語」に関する講義（井上先生）	9	フィールドワーク②日目 A.C.C 国際交流学園との交流会開催、途中段階の成果物に関して意見を聞く
3	富士高砂酒造および富士宮市の現状と課題について知る、考える：富士高砂酒造または富士宮市の担当者の声を聞く。オンライン。	10	フィールドワークで得られた成果やデータの整理、アウトプット
4	富士高砂酒造の現状や課題を踏まえ、解決に向けた行動を考える 企画、制作① 役割ごとのグループで成果物の内容を検討し、作成する。	11	フィールドワークを踏まえた制作物の再検討① 実際の声や意見をもとに、より実態に即した成果物を作成する。
5	企画、制作② 役割ごとのグループで成果物の内容を検討し、作成する。	12	フィールドワークを踏まえた制作物の再検討②、学内発表「SDGs フォーラム」の準備
6	企画、制作③ 役割ごとのグループで成果物の内容を検討し、作成する。	13	「SDGs フォーラム」で得た反省を共有し、成果物の再検討
7	フィールドワーク準備 途中段階の成果物を取りまとめ、フィールドワークおよび交流会の内容の検討と準備をする。	14	成果物の共有、全体振り返り 成果物（案内パンフレット、動画）を関係者（富士高砂酒造、富士宮市役所等）に共有する。プロジェクト全体の振り返りを行い、次に向けた行動を考える。

3. 具体的な取り組み

活動内容①

- 日本酒製造工程の動画・パンフレット制作
- 富士高砂酒造の全面協力 昨年度の課題「現場のディテール」を重視

【動画制作の工夫】

- 撮影工程(洗米→蒸米→麴造り→発酵)
- 職人の「こだわり」や手作業の様子を重視
- 視覚的に理解できる構成

【パンフレット制作の工夫】

- 製造工程をステップごとに図解
- 見学時に手元で確認できる構成
- 初心者・外国人にも分かりやすいデザイン



3. 具体的な取り組み

「やさしい日本語」「多言語」によって富士高砂酒造の魅力を外国人にも分かりやすく伝えるために、パンフレット・動画を作成する。

-パンフレットの作成にあたって-

- やさしい日本語の再認識
- 製造工程をステップごとに図解
- パンフレットの構図考案、および再検討



3. 具体的な取り組み

「やさしい日本語」「多言語」によって富士高砂酒造の魅力を外国人にも分かりやすく伝えるために、パンフレット・動画を作成する。

-動画の作成にあたって-

- 動画の構成考案
- フィールドワーク時に撮影
- 日本酒の製造工程
- 「やさしい日本語」「多言語(英語)(フランス語)」の2パターン作成



3. 具体的な取り組み

活動内容②

やさしい日本語化・多言語化の展開

対応言語：やさしい日本語 英語 フランス語



【やさしい日本語化の取り組み】

- ・ 専門用語をそのまま使用→こだわりを伝える
- ・ 指導教員からの助言を反映
- ・ 日本語学習中の留学生・学生から意見収集
- ・ 動画テロップ・パンフレット全文に適用

【多言語化（英語・フランス語）の取り組み】

- ・ 連携先→富士宮市役所・A.C.C.国際交流学園・地域おこし協力隊
- ・ 英語：インバウンド需要を意識
- ・ フランス語：欧州圏への情報発信を視野

4. 成果物の発表



れいたくたいがく
麗澤大学

おすすめのお酒

たかさご やまはいだいきんじょう
高砂 山麴大吟醸

アルコール度 15.0%
日本酒度 +4.0

じゆんまいきんじょう やまだにしき
純米吟醸 山田錦

アルコール度 15.0%
日本酒度 +3.0

たかさご やまはいじゆんまいからくち
高砂 山麴純米辛口

アルコール度 15.0%
日本酒度 +7.0

たかさご やまはいうめしゆ
高砂 山麴梅酒

アルコール度 11.0%
日本で育てた梅を
100%使っています

あまい ~4 ~~~~~ +7~ からい
日本酒度

しずおかけんふじのみやしたからまち
 静岡県富士宮市宝町9-25 FAX:0544-23-1754
 TEL:0544-27-2008

たふんかきようせい
多文化共生プロジェクト

ふじのみやし
富士宮市やさしい日本語計画

にほんごけいかく

Ingénierie de la fabrication du saké

1 2
Polissage et lavage du riz



Le riz est broyé pour la fabrication du saké.
Le riz est lavé à l'aide d'un courant d'eau et d'air.

3
**Cuisson du riz
Refroidissement**



Nous utilisons du riz provenant de toute la Japon.
La méthode de fabrication varie en fonction des conditions météorologiques.

4
Culture de levure



Nous cultivons la levure utilisée pour la fabrication du saké.
La levure est un micro-organisme utilisé pour fabriquer le saké.

5
Levain et levain-mère



Le plus difficile ici est la fabrication du « yamahai ».
Le « yamahai » est une méthode de fabrication utilisant uniquement des micro-organismes présents à Takasago.

8
Stockage



Placez l'alcool que vous avez préparé au réfrigérateur. Cela empêchera qu'il ne s'abîme.

7
Pressage



Empilez les sacs contenant le moût et pressez-les. Il existe également une méthode permettant d'extraire lentement l'alcool.

6
Préparation ~ Fermentation



Mélangez l'eau du mont Fuji et le riz dans un récipient en bois. Le mélange qui mousse abondamment s'appelle « moromi ».

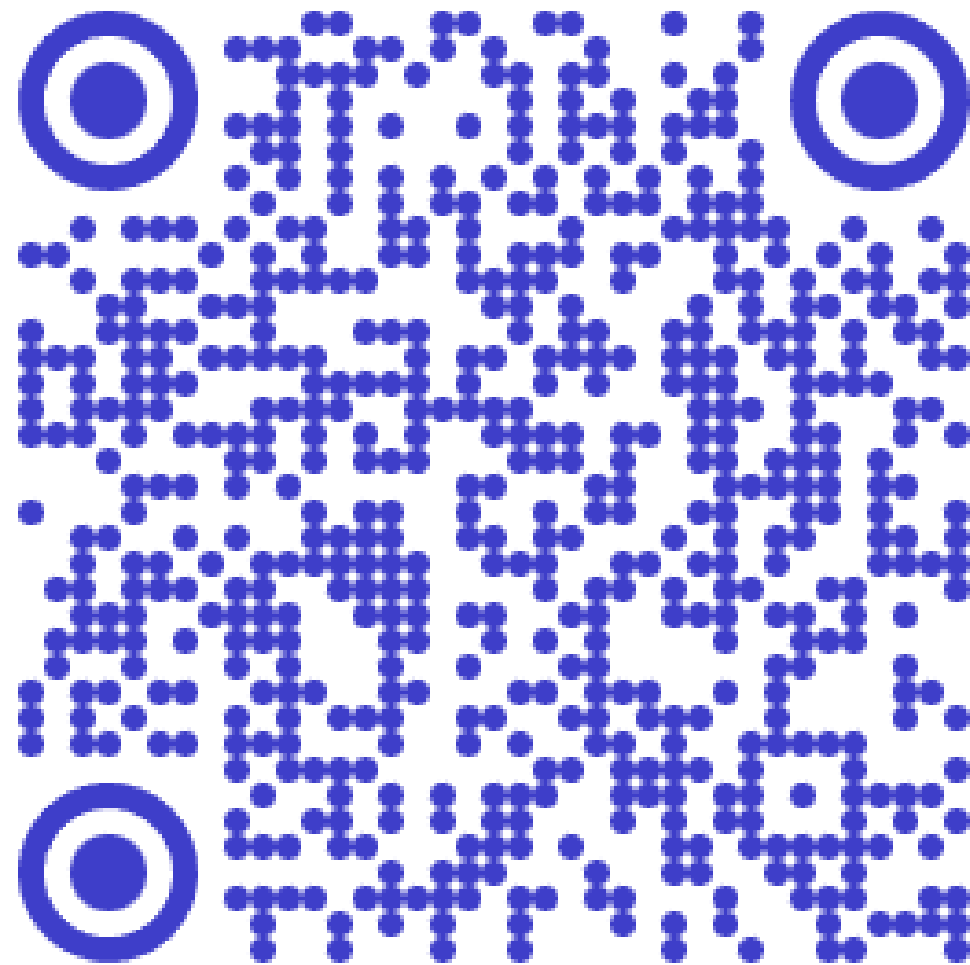
**[Visite gratuite !
Réservation obligatoire.]**

**Numéro de réservation :
0 5 4 4 - 2 7 - 2 0 0 8**

**Visite guidée : 45 minutes
De 10 h 30 à 15 h 30**



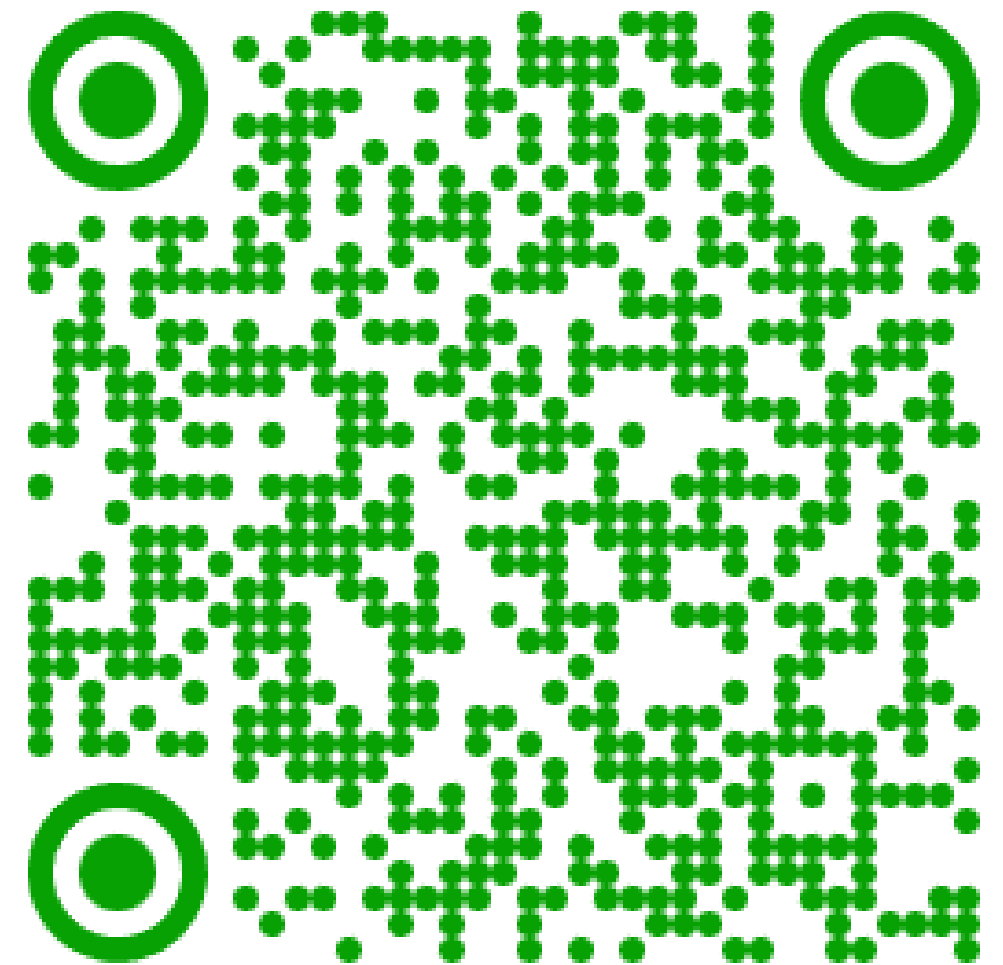
4. 成果物の発表



動画：日本語版

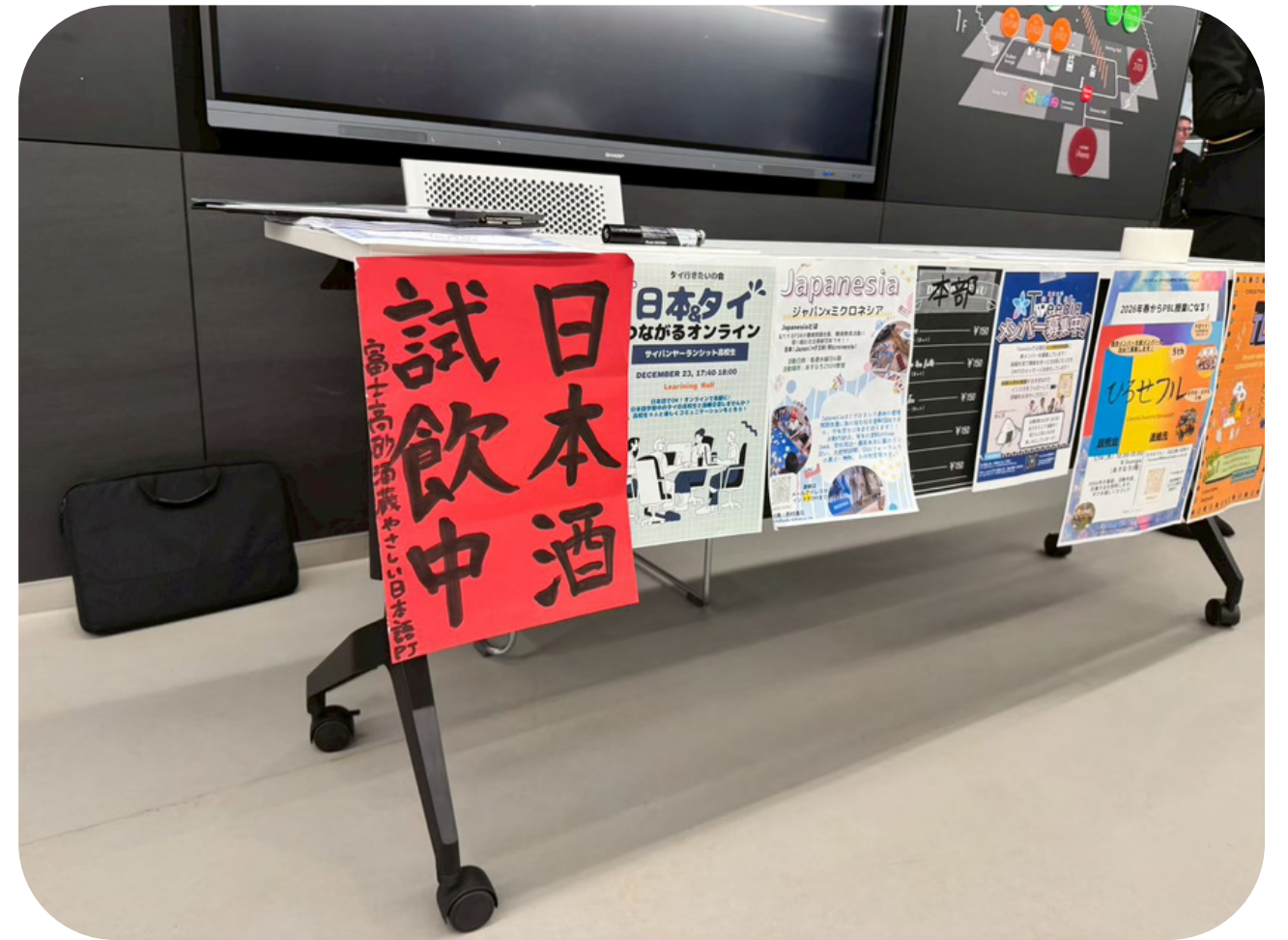


動画：英語版



動画：フランス語版

5. 学校内での成果発表会



5. 学校内での成果発表会



6. まとめと今後の展望

- 考察 -

- ・ 日本酒を軸に、地域の多様な主体の連携が強化された
- ・ 動画・パンフレットに「やさしい日本語」と多言語（英語・フランス語）を導入し、幅広い人への情報保障を実現
- ・ 専門用語を活かしつつ補足説明を加え、日本酒文化を学べる資料となった

- まとめ -

- ・ 日本酒という伝統文化を軸に多文化共生を実践
- ・ 映像 × 図解 × やさしい日本語 × 多言語化
- ・ 観光と地域共生をつなぐ持続可能なモデルを提示

- 今後の展望 -

- ・ 他の地域資源への応用
- ・ 対応言語の拡充
- ・ 多文化共生モデルとしての発展

